

特殊詐欺

◆ 特殊詐欺発生状況 (令和2年暫定値)

大阪府下の令和2年中の特殊詐欺発生状況は、認知件数が1,108件(前年比-701件)、被害金額が約22億4千万円(前年対比-約2億8千万円)でともに減少しました。

認知件数の約半数は、キャッシュカードを狙った手口(預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺盗)で、約4分の1が還付金詐欺でした。

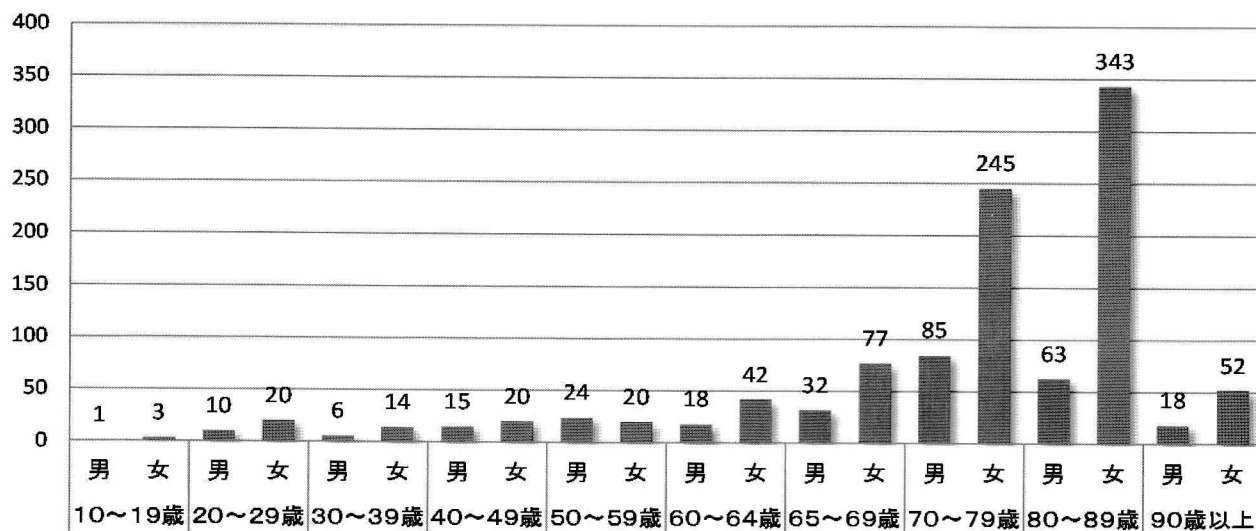
被害金額の約半分は、架空料金請求詐欺で、証券会社や有名企業を騙った名義貸しのトラブル解決名目や有料サイトの未払い料金請求名目により、高額の被害が発生しました。

◆ 特殊詐欺認知件数と被害金額 (令和2年暫定値)

	令和2年		令和元年		増 減	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
特殊詐欺全体	1,108	2,241,396	1,809	2,518,472	-701	-277,077
オレオレ詐欺	59	211,707	208	636,911	-149	-425,204
預貯金詐欺	425	599,322	708	663,973	-283	-64,651
架空料金請求詐欺	211	978,344	268	479,876	-57	498,468
融資保証金詐欺	27	27,321	34	65,241	-7	-37,920
還付金詐欺	252	263,850	284	296,660	-32	-32,810
金融商品詐欺	3	22,500	0	0	3	22,500
交際あっせん詐欺	0	0	0	0	0	0
ギャンブル詐欺	6	5,247	3	34,910	3	-29,663
その他の特殊詐欺	3	1,798	0	0	3	1,798
キャッシュカード詐欺盗	122	131,307	304	340,901	-182	-209,594

◆ 特殊詐欺認知件数と被害金額 (令和2年暫定値)

被害者年齢・性別分布(令和2年中)



- 特殊詐欺全体の被害者の性別の割合は、男性が約25%、女性が約75%となっています。
- 65歳以上の高齢者の割合は、約83%となっています。
- 年代別では、80歳代の方が一番被害に遭っています。

「電子マネーの番号教えて」は詐欺!